



奉仕・向上・協調

済生会

わかやま

NEWS

第1号

発行日:2004.1

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

済生会和歌山病院は昭和23年創立以来55年、旧病院（市内新生町）で地域の皆様に親しまれ育てていただいていた今日に至っております。

バブル崩壊以来日本経済の長期にわたる低迷や少子高齢社会と社会環境が変化し、一方医療の診断技術、治療技術の著しい進歩に伴い、国民医療費は高騰して参りました。

この二つの課題に対応できる、将来を展望した抜本的医療制度改革案が見出せぬまま、世界に誇った国民皆保険制度も崩壊しようとしております。

全国の病院は一般病床、療養病床と役割分担を明確にすることを余儀なくされ、まさに、再編、淘汰の厳しい状況にあります。

このような医療環境の中、当院は狭隘で老朽化した施設のため、変化に対応することも、又地域の皆様のニーズに応えることも困難となり、時代に即した病院づくりを模索してまいりました。

資金的制約もあり紆余曲折を重ね、最終的に和歌山県より旧医大別館を買収する改修移転案を選択し、脳神経外科、眼科の新設、オーダリングシステム・電子カルテ導入によるIT化、医療機器の整備等を含めた改修整備案を立案し、済生会和歌山県支部、済生会本部の両理事会でご承認いただき、平成15年2月より改修に着工し、平成15年10月12日に移転開院の運びとなりました。

済生会和歌山病院では移転を新たな出発点として、職員の意識改革と組織の再編成をはかり、新たな手法を取り入れ歩んで参ります。

当院の特性と置かれている医療環境を把握し、地域の医療福祉施設と連携を密にし、医療の質を高め、安全性の確保と共に、より効率的医療を基本に、愛され親しまれ信頼され選んでいただける病院を目標にしております。

院是である“奉仕・向上・協調”をモットーに皆様の期待に少しでも沿えるよう職員一同、切磋琢磨致す所存でございます。

引き続き当院の運営にご理解を賜りますと共に、本年もご指導ご支援の程どうぞよろしくお願い申し上げます。



病院長 井関良夫

脳神経外科 (脳神経外科医長 仲 寛)

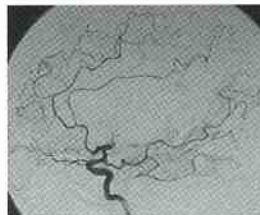
新年のお慶びを申し上げます。済生会和歌山病院・脳神経外科は昨年10月に新設され、脳卒中診療体制を整えてまいりました。不十分な対応ながら、近隣の先生方からは多数患者さんをご紹介賜りました事に深く感謝申し上げます。迅速な脳卒中診療を中心に頭部外傷等も対応すべく心新たにしております。本年もよろしくお願い申し上げます。今回は当科の脳卒中治療の概略を掲載させていただきます。



脳梗塞：原則として発症6時間以内で、条件を満たせば超急性期血栓溶解療法を行います。中には片麻痺や失語症などの神経症状が劇的に改善し短期入院で社会復帰できる例もあります。できるだけ早く診断し治療開始できるか発症からの時間が鍵であり、開業医の先生方、救急隊の方々の迅速な連携が最も要求されるところです。脳梗塞急性期の適切な初期治療および早期リハビリを行い、慢性期においては再発を防止すべく頸動脈血栓内膜剥離術(CEA)などを行います。

〈脳塞栓の局所血栓溶解療法の実例〉

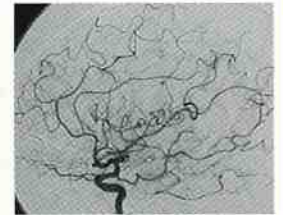
Case 1
失語症、右片麻痺。心房細動。



Lt-CAG: 左中大脳動脈の閉塞



マイクロカテーテルによる
血栓溶解術



Lt-CAG: 左中大脳動脈の再開通
失語症、右片麻痺が改善

〈頸動脈血栓内膜剥離術 (CEA) の実例〉

Case 2
一過性脳虚血発作の後
右片麻痺が進行性に増悪



Lt-CCAG: 80%の左内頸動脈狭窄



CEA



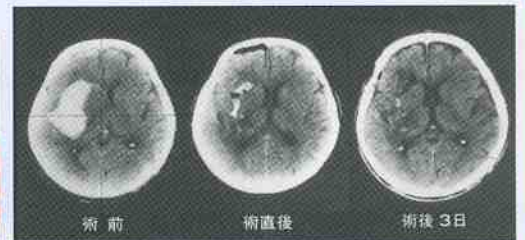
右片麻痺が改善

脳出血：CTを用いた駒井式定位脳手術法による血腫除去を行います。局所麻酔下で骨に一円玉ほどの穴をあけるだけで手術可能です。

・定位脳手術 (CT誘導駒井式) による血腫除去



・局所麻酔で可能



術前 術直後 術後3日
・正常脳組織の犠牲が少ない

クモ膜下出血 (脳動脈瘤の破裂)：手術用顕微鏡下にクリッピング術を行います。



clipping



クモ膜下出血軽症例では、8割近くが社会復帰もしくは日常生活において支障なく生活可能です。

眼科紹介 (眼科医長 林 佑子)

この度、新設された眼科では、常勤医1名 非常勤医1名(和歌山県立医科大学附属病院より応援)にて眼科一般診療、糖尿病網膜症をはじめとするレーザー治療などを中心に診療しています。視力検査 色覚検査(石原式 パネル15 東京医大式) 立体視検査

角膜内皮細胞数測定 静的視野検査 動的視野検査 中心フリッカー 超音波エコー 網膜電位図 眼筋機能検査 蛍光造影眼底検査が施行できる施設が整っております。

和歌山県立医科大学と連携をとりつつ、地域に根ざした医療を提供します。

診察日は月曜日から土曜日(但し、土曜日は第2と第4)の9時から12時です。尚、金曜日は医大より応援医師が外来担当となっております。(受付は11時まで)

第1、第3水曜日 15時30分より16時30分までコンタクトレンズ外来です。(受付は16時まで) 午後は予約検査、レーザー、処置となっております。



済生会和歌山病院回復期リハビリテーション病棟 (医長 西田 秀樹)

現在、病院では在院日数の短縮化が推進されています。介護保険では在宅ケアサービスが体制化されつつあります。この中間に位置し、家庭復帰と社会復帰を目的としたリハビリテーションを行なうのが「回復期リハビリテーション病棟」です。この病棟に入院される患者さまは、回復期リハビリを要する状態で、ADLの向上・寝たきりの防止・家庭復帰が目的です。

この回復期リハビリテーション病棟は、新たな制度のためまだ十分理解されていない事も実ですが、人口構造の変化と高齢化社会の到来、疾病構造の変化に伴う慢性疾患の増大、新たな障害・疾患の出現などにより、リハビリテーションの重要性は、「全人的復権」という理念のもと、医療・福祉の両面において益々重要になっています。

ここでは、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカーが共同でプログラムを作り、日常生活動作の訓練を実施します。チームでリハビリテーションに取り組むため、より大きな効果が期待できます。

また、済生会和歌山病院は、本人および家人が少しでも安心して医療サービスが受けられることにより和歌山県民に少しでも尽くすことが出来れば幸と思っております。

回復期病棟開設日 2003年12月1日



最新MRI装置導入の御案内 (放射線科医長 野村 尚三)

この度、当院では、世界最高性能を持つドイツ・シーメンス社製MRI装置/MA GNETOM Symphonyを導入することとなりました。



今回導入されるMRI装置は、世界最小(奥行160cm)ながら、世界最高性能(磁場強度1.5T、最大実効傾斜磁場52mT/m、スリューレート130T/m/s)を持ち合わせております。

またX線を使用しないため、患者様の被曝は全く有りません。

これにより、御依頼される先生方へ最高の画像情報を御提供できるとともに、検査を受けられる患者様へも快適な検査を御提供できます。



済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成16年1月1日より)

	内科・呼吸器科・消化器科		循環器	放射線	外科・心血管外科		整形外科			脳神経外科	耳鼻咽喉科	腎センター	眼科	皮膚科	泌尿器科	
	予約診	新患・健診			1診	2診	1診	2診	リハビリ							
月	午前	井関	田中 又は 赤松	木村	-	重里	太田	木下	脊椎診	南	南都	林	成川	林	山本	-
	午後	赤松	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
火	午前	田中	柳本	山本	-	駒井	-	南	木下	山崎	仲	林	成川	林	-	-
	午後	坂東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	外来診察	-	-	-
水	午前	坂東	山原	阪井	野村	重里	太田	山崎	木下	西田	南都	医大医師	成川	林	-	藤井
	午後	井関	川口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
木	午前	柳本	坂東	木村	-	駒井	-	南	-	木下	仲	林	北端	林	酒井	-
	午後	田中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金	午前	川口 赤松	井関	山本	-	太田	-	木下	山崎	南	河邊	林	成川	宮崎	-	柑本
	午後	柳本	山原	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土	午前	坂東 又は 田中	柳本 又は 川口	木村 又は 阪井	-	特殊 外来	-	当番医	-	-	当番医	林 又は 医大医師	成川	林 (第2・4)	-	-

肝臓病教室

場所：済生会和歌山病院 7階 多目的室

時間：午後2時～

参加費：無料

日程：平成16年1月24日(土) 肝硬変 薬剤師とリハビリテーション科
 2月14日(土) 肝硬変 栄養士
 3月13日(土)(予定) C型肝炎 医師

糖尿病教室

日程：第3水曜日・木曜日(2日間)

場所：済生会和歌山病院

時間：午後2時から午後3時30分

診療案内

診察日：月～土曜日

受付時間：午前8時45分～午前11時・午後0時45分～午後2時(内科)(但し土8時45分～11時00分)

休診日：日・祝祭日(年末年始)

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車徒歩すぐ

ホームページもご覧ください。

<http://www.saiseikai-wakayama.jp/>